

講義コード	1006	科目区分	
(フリガナ)	ホイクナイヨウ(カンキョウ)	(フリガナ)	カワサキ トクコ
授業科目名	保育内容(環境)	担当教員名	川崎 徳子
英文授業科目名			
基準年次(開講期)	2年生(前期)	履修形態	
曜日/時限/講義室	火曜日/1時限/保育実習室		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	保育内容「環境」、人的環境、物的環境		
授業概要・目的	子どもの発達における環境の意義や役割について理解を深め、子どもにとって望ましい環境について修得させる。そのために、子どもにとっての環境とは何か、子どもの発達にとっての環境はどのような意味や役割を持つのか、子どもは身近な環境にどのように関わっていくのか等について、理解を深めさせる。また、保育者自身の好奇心・探究心・感性・さらには対象へ知識や技能等が、子どもの環境との関わりへの支援に大きく関係することを理解し、自らの資質の涵養について考える。		
到達度評価の 評価項目	保育内容「環境」について理解するとともに、幼児期の自然事象に対する興味や関心、態度について理解する。また、指導者として動植物を育てながら、人間と自然との共生について考察できる能力を身につける。さらに、指導計画等も作成できる。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 授業概要の説明		
第2回	動植物を育てる ・野菜を育てる		
第3回	" ・花を育てる		
第4回	" ・身近な動物を飼う		
第5回	" ・環境を調査する		
第6回	保育内容「環境」の変遷 ・明治から戦前		
第7回	" ・戦後から現在		
第8回	現代の子どもと環境 ・子どもを取り巻く様々環境について考察する。		
第9回	" ・事例として、里山保育の実例について考察する。		
第10回	保育内容「環境」について ・保育所保育指針について理解する		
第11回	" ・幼児期の人的環境について考える		
第12回	" ・幼児期の物的環境について考える		
第13回	指導計画の作成 ・日案を作成する		
第14回	" ・年間指導計画を作成する		
第15回	まとめ		
教科書・参考書等	米本 昌平『地球環境問題とは何か』岩波新書 1994 藤田 智『野菜づくり大図鑑』講談社 2007 今森 光彦、遠藤 勁 『昆虫記』福音館書店 1988		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス			
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	保育内容「環境」のねらいについて理解することができ、 幼児と環境について自分なりの考えを持つことができたか。 動植物と積極的にかわり、育てる力がみについたか。		
メッセージ	実際に動植物を育てたり、野山や海に出かけるので、適切な身支度で授業に参加して下さい。 テキストを必ず購入する。		
オフィス・アワー			
その他	・芝崎正行・若月芳浩 編『保育内容「環境」』ミネルヴァ書房		